

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	愛知淑徳大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	愛知
大学全体の総収容定員	7,800名	※令和5年5月1日時点		
学部学科組織構成	文学部（国文学科、総合英語学科、教育学科）、人間情報学部（人間情報学科）、心理学部（心理学科）、創造表現学部（創造表現学科（創作表現専攻、メディアプロデュース専攻、建築・インテリアデザイン専攻））、健康医療科学部（医療貢献学科（言語聴覚学専攻、視覚科学専攻）、スポーツ・健康医科学科、健康栄養学科）、福祉貢献学部（福祉貢献学科（社会福祉専攻、子ども福祉専攻））、交流文化学部（交流文化学科）、ビジネス学部（ビジネス学科）、グローバル・コミュニケーション学部（グローバル・コミュニケーション学科）			
事業計画名	愛知淑徳大学建築学部設置計画			

2. 事業概要

愛知淑徳大学では、令和7年度（2025年度）に入学定員130名、収容定員520名からなる「建築学部建築学科」を開設予定である。

本学部では、建築、インテリア、都市計画、まちづくりなどにおける実社会の諸問題の解決や、より豊かで質の高い生活の創生に貢献する人材の育成を目標とし、**グリーン分野（エネルギー・環境）などに関するテーマに取り組み、脱炭素社会あるいは持続可能な社会の実現に資する人材や少子高齢化や過疎化などが起因となる空き家対策、建築再生、防災・減災など現代社会における課題に向き合う人材、つまりはこれら諸課題に対して包括的に対応し得る建築産業界などで活躍できる次代の担い手の創出を図ることとし、建築の計画・設計、歴史、材料、構造、環境・設備、まちづくり、インテリアデザインなど建築学とそれに関連する複数分野の専門的学修を行う。**

本学部は、幅広い進路選択や資格取得を意識し、建築（環境系、構造系、計画系、設計系）を中心とした様々に幅広いスケールを学ぶことは勿論のこと、企業や自治体などとの連携による実践的な教育（フィールドワークやアクティブラーニング、PBLなど）、建築会社や設計事務所などでの実務経験のある教員からの教授、最新の教育環境の整備（建築実験棟の新設を含む）など、単なる建築学部や工学部とは一線を画した、これまで**本学が培って来た家政（住居）・芸術（デザイン）・工学（建築）の要素を活かした本学ならではの学びを拡充・深化させ、特に女性の理工系分野の人材促進を図る。**

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	建築学部建築学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	愛知県長久手市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	130名					
他学部等の入学定員の減少数	170名					

事業計画名	愛知淑徳大学建築学部設置計画				
--------------	----------------	--	--	--	--

基本情報					
改組予定年度	令和7年度	設置等組織名	建築学部建築学科	入学定員増数（合計数）	130名
所在地	愛知県長久手市	改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）	入学定員減数（合計数）	170名

社会や地域のニーズ・課題

- ・人材のニーズ調査を行い、多くの企業などからの採用意向有り
- ・企業や行政に携わる方々と意見交換・聴取を実施
- ・建築、インテリア、都市計画、まちづくりなどにおける諸問題に取り組む人材を要望

設置学部の概要・コンセプト・特徴など

- ・「建築・まちづくり」から「住居・インテリア」まで幅広いスケールで、人と環境の関わりを構想（「建築・まちづくり専攻」と「住居・インテリアデザイン専攻」の2つの専攻制を設定）
- ・大学理念「違いを共に生きる」を“建築学”の分野に反映

教育内容・養成する人材像

- ①幅広い進路選択が可能な学び
- ②地域連携、産学官連携などによる実践的な学び（フィールドワーク、アクティブラーニング、PBLなどの推進）
- ③建築（環境系、構造系、計画系、設計系）を中心とした様々に幅広いスケールの学び
- ④建築を基軸とした歴史から学び、未来へ向けて創造する“チカラ”の醸成
- ⑤工学系だけでなく、芸術系や家政系を包括した学びからなる多様な人材の育成
- ⑥建築学部の基礎となる既設学部・学科（専攻）からの連綿と続く社会貢献できる人材の輩出の拡張・深化
- ⑦実社会の諸問題の解決及び持続可能な社会の実現に貢献する人材の養成

連携を通じた教育体制の整備

- ・企業などと連携し、有名建築家と共同する授業
- ・建築会社や設計事務所など、実務経験のある教員などによる実社会を感じる授業
- ・近隣市町村と連携した“まちづくり”や“防災計画”を構築する実践教育

多様な志願者・入学者の確保

- ・令和6年度入試～
新たな入試制度・形態の導入（「大学理念・違いを共に生きる入試」）
- ・令和7年度入試～
公募制推薦入試や一般入試における理系科目の選択肢追加
⇒ 理系科目を得意とする受験生への優遇（理系学生の受験機会増）

建築・まちづくりから住居・インテリアまで 幅広いスケールで人と環境の関わりを考える。

建築とは、人類が文字を手にする以前から今日まで続く、文化的な営みです。建築学は、設計・構造・材料といった工学的要素だけでなく、人文・社会・自然科学にまたがる要素を含む総合科学といえます。愛知淑徳大学は「違いを共に生きる」の理念にもとづいて幅広い分野の研究と人材育成に取り組んできました。この成果を基盤に2025年4月、「建築学部（仮称）」の新設を構想しています。「建築・まちづくり」から「住居・インテリアデザイン」に至る幅広い観点で建築学を学ぶカリキュラムを編成し、建築、インテリア、都市計画、まちづくりなどにおける実社会の諸問題の解決や、より豊かで質の高い生活の創生に貢献する人材を育成します。

特色ある取り組み 前身学部である創造表現学部 創造表現学科 建築・インテリアデザイン専攻における取り組みを紹介

著名な建築家とコラボするデザインワークショップ

3年次の「デザインワークショップ」では、「TOTOギャラリー・間 愛知道回展」やオリジナルの建築展覧会を企画・開催しています。日本を代表する建築家と協働し、会場設計から施工・宣伝・運営まで学生主体で行います。建築学部では、こうした実践の場を豊富に用意します。

築100年以上の古民家を書庫兼アトリエとして再生

岐阜県羽島市に100年以上前に立てられた診療所のリノベーションに、建築設計を学ぶ学生たちが挑戦しました。測量と実地調査、依頼者ヒアリングなどを行って、書庫兼アトリエにするプランを提案、地元工務店による施工に学生たちも参加して完成させました。地域との連携による実践的教育を建築学部でも取り入れる予定です。